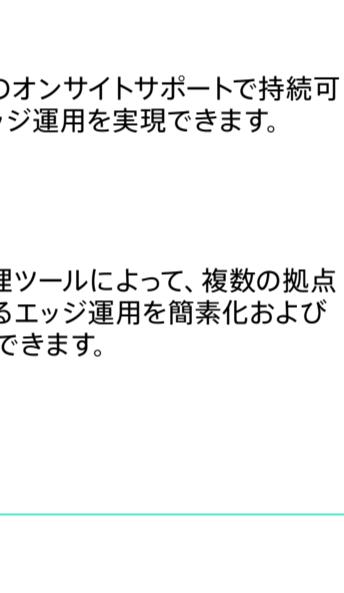




エッジコンピューティングの評価: ITリーダーのためのセルフチェックガイド

エッジに対応する準備はできていますか。

エッジコンピューティングは急速に拡大しており、2027年までに4台に1台のサーバーがエッジに展開されると推定されています。しかし、エッジに対する準備状況は、「Yes」か「No」で答えられる単純なものではありません。適切なワークロードに適切なインフラストラクチャを組み合わせ、エッジが真の価値を発揮できる方法を見極め、大規模な運用においても信頼性を確保できるツールを備えることが重要です。



ここから始めましょう: エッジに関するセルフチェック

1. ワークロードの適合性	2. セキュリティとコンプライアンス	3. インフラストラクチャとAI準備状況	4. 運用のスケーラビリティ
<p>はい</p> <p>いいえ</p> <p>はい</p> <p>いいえ</p> <p>はい</p> <p>いいえ</p> <p>はい</p> <p>いいえ</p>	<p>エッジコンピューティングが応答性の向上や遅延の低減に役立ちます。また、より現場に近い場所でインサイトを得ることができます。</p> <p>パフォーマンス向上という目的ではエッジコンピューティングは今すぐ必要ではないかもしれません。ローカルでの処理や将来のワークロード拡張をサポートすることができます。</p>	<p>エッジ展開を自信を持って拡大できる態勢が整っています。</p> <p>リスクを軽減し、拡張をサポートするために、セキュリティとリモート監視が組み込まれたツールを検討ください。</p>	<p>データが生成される場所の近くで高度なワークロードを実行し、より迅速な分析と自動化を実現できます。</p> <p>増加する需要に対応できる、コンパクトなAI対応サーバーとエッジネイティブなプラットフォームをご検討ください。</p>

スコアからわかること

0-1

個の「はい」

2-3

個の「はい」

4

個の「はい」

エッジへの対応は、まだ始まったばかりです。まずは基本的な計画の立案とユースケースの検討を行いましょう。

エッジへの対応は、順調に進行しています。成長を支えるために、主要な課題や重点領域を特定しましょう。

エッジ戦略を自信を持って拡張できる態勢が整っています。

業種別のエッジにおける進歩

業種	結果
小売業	AIを活用したビデオ分析でロスを削減し、顧客体験を向上
製造	予測的メンテナンスと品質保証により生産性を向上
医療	リアルタイムデータとAIによる分析で診断とケアを改善
物流	リアルタイムの車両最適化により配送ルートを合理化

5. 負担のない拡張

あらゆる規模で、パフォーマンスとニーズが一致するワークロードを自信を持って展開。

1. 専用のコンピュート

実際のエッジ環境向けに設計された、コンパクトで静かなAI対応コンピュート。

4. 運用上のインサイト

エッジ環境全体のエネルギー使用量、二酸化炭素排出量、コストを管理。

3. シンプルな制御

シングルペインオブグラスからモートオンボーディング、パッチ適用、トラブルシューティング。

2. 統合型のセキュリティ

シリコンからソフトウェアまで組み込まれたセキュリティ脆弱なエッジサイトを物理的に保護。

Visit HPE.com

詳細はこちら

[HPE.com/ProLiant](#)

今すぐチャット

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パッカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、すべて当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては完全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a00147077|PN, Rev.1

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

[hpe.com](#)

HPE

ProLiant Compute

DL145 Gen11

Compute Ops Management

iLO 6

ProLiant Compute

ProLiant Compute